

エシカルコットンサミット 2013

～キーワード集～

エシカル

道徳的に正しい、倫理的に正しいの意味。ファッションでエシカルといえば、オーガニック・コットン、フェアトレード、リサイクルなど、環境保護や社会貢献、サステナビリティ、トレーサビリティを考慮したものづくりをさす。

エシカルファッション

ファッションにおいて、環境・社会に過度な負担を強いることのない生産方法のこと。染めを含めたオーガニック素材・天然素材の使用、リサイクル素材の使用、またはリユースの推進、フェアトレードによる貿易取引、伝統技術の保全、高機能エコ素材の使用、社会貢献性を内包するビジネスモデル、地域に根ざしたものづくり、手作りなど、さまざまな手法がある。

フェアトレード

フェアトレード (Fair Trade/Fairtrade) とは直訳すると「公平な貿易」。つまり、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」をいいます。製品にラベルを貼付し、原材料から完成品となるまでの全過程で、国際フェアトレードラベル機構 (FLO) が定めた国際基準が守られていることを証明するフェアトレード・ラベル運動と、世界フェアトレード機関 (WFTO) が定めるフェアトレードの 10 の指針に基づいて事業を行う団体が生産者と直接取引する、2つの大きな国際的な流れがあります。いずれも、よりよい取引条件を提供することで、立場の弱い生産者や労働者の権利を守り持続可能な発展をめざすものです。



オーガニックコットン

米国・欧州基準に準拠して栽培された綿花のこと。その綿花を使用して製造される製品も“オーガニックコットン”と称される。

国際認証基準としては GOTS (Global Organic Textile Standard), OE (Organic Exchange), Fair Trade Organic があり全生産工程の登録と実地検査を必要とする。日本国外で“organic”と謳うにはいずれかの認証取得が必須。



BCI (Better Cotton Initiative)

スイス・ジュネーブに本部をもつ「通常綿よりも環境配慮型綿の普及啓発促進団体」。オーガニックコットンとの主な違いは、GMO (遺伝子組換え) 使用可能、第 3 者認証無し、農家への綿花生産付加金 (プレミアム・プライス制) 無し、ラベルの使用基準無しの 4 項目。



Textile Exchange (テキスタイル・エクステンジ)

旧称 Organic Exchange で、2003 年に設立された NPO 団体。オーガニックコットンを中心とした環境配慮型繊維の普及啓発を目的としている。本部は米国 (テキサス州) にあり、8 カ国にスタッフを配置。以下 4 業務をメインとしている、①関係各種データの収集・発表、②OE (オーガニックコットン基



準)、GRS(リサイクル基準)の維持・運営、③中南米・アフリカ・インド等での有機農業指導・地域教育を通じて市場の安定化、事業可能性の開発を進めていく、④農業従事者-繊維生産者-アパレル・ブランド-小売業者等が交流を通じて国際的に環境配慮繊維の定着を図る。

GMO コットン (遺伝子組み換えワタ)

遺伝的性質の改変によって品種改良されたワタで、その多くは除草剤であるラウンドアップに耐性を持たせたラウンドアップレディと呼ばれるものや、Bt コットンと呼ばれるワタを食害するオオタバコガの幼虫の体内で、タンパク質の分解により毒素を発生させる土壌バクテリアの遺伝子を組み込んだものが主流である。

2011 年度では、アメリカのワタの 94%、インド 88%、中国 72%、メキシコの 87%が GMO コットンとされている。(ISAAA 調査)しかしながら、安全性や生態系への影響、農家の経済問題などについて GMO 推進派と否定派との間に論争が続いている。

CSR(Corporate Social Responsibility 企業の社会的責任)

企業が事業活動において利益を優先するだけでなく、地球環境の持続性や、顧客、株主、従業員、取引先、地域社会などの様々なステークホルダーとの関係を重視しながら果たすべき社会的責任のこと。CSR の発展形として、企業の競争力強化と社会的課題の解決を同時に実現させ、社会と企業の両方に価値を生み出す CSV (Creating Shared Value : 共有価値創造) の考え方 (米国ハーバード大学ビジネススクールのマイケル・ポーター教授が提唱) が、注目をあびている。

サプライチェーン

原料の生産、調達の段階からはじまる、製造、物流、販売などを含む、製品やサービスが作られて消費者の手に届くまでの全プロセスのつながり。

児童労働

義務教育を妨げる労働や法律で禁止されている 18 歳未満の危険・有害な労働のことを指します。世界には 2 億 1500 万人、子ども (5-17 歳) の 7 人に 1 人が児童労働をしているといわれています。

プレオーガニックコットンプログラム

株式会社クルックと伊藤忠商事株式会社 繊維カンパニーが共同で企画・運営を行なう「インドのコットン生産者のオーガニック栽培への移行を支援するプログラム」。農薬問題に苦しむインドのコットン生産者がオーガニック栽培へ移行するため、負担のかかる 3 年間の移行期間中に栽培されたコットンにプレミアムを付けて購入するほか、オーガニック農法の指導やオーガニック認証の取得サポートを行うことで、農薬などによる環境被害・生産者の健康被害・農薬コスト増による農家の経済的負担などの悪循環を断ち切ることを目指す活動。

東北コットンプロジェクト

東北コットンプロジェクトは、東日本大震災被災地の農業生産組合・農業法人とアパレル関連企業等が共同で、東日本大震災からの復興を目指し「農業再生」「雇用創出」「新産業」を目的に被災農地にて綿 (コットン) の生産を行うプロジェクト。2011 年 7 月発足。被災地の農業生産者が綿を栽培し、アパレル関連企業が紡績・商品化・販売を行うことで復興を支援。原料である綿の栽培から綿製品の販売までの一連の工程をプロジェクト参加各社で展開。参加団体は 2013 年 4 月時点で 70 団体。